

令和8年度 学校経営方針

学校教育目標

- 【知】 自己を見つめ 自ら学ぶ
- 【徳】 思いやりのある 豊かな心
- 【体】 強い意志 たくましい体

【平成23年4月1日改訂】

1. 目指す生徒の姿

既得経験の通用しない・しづらい未来に向けて必要な力は、他者と協働することを含めた「自分で何とかする力」であるとする。

本校生徒は規範意識が高く、何においても誠実にやり遂げようとする。この素晴らしさを基盤に、これだけは譲らない、何とかしてやり遂げたい、という強い意志を持たせたい。そのために、広い世界を見せ、多くを考えさせ、独創的・創造的なひらめき（アイディア）を生産させたい。

2. 求める教職員の姿

教職員には脱他力本願、脱責任転嫁を求め、失敗を恐れずに、生徒のために、あれもやりたい、これもやりたいという挑戦的な姿勢を奨励する。

3. 重点教育目標

自らの学びと暮らしをデザインできる生徒の育成

4. 経営の視点

- (1) 教育課程
キャリア教育を主軸とした系統的な総合的な学習の時間の**確立**
- (2) 組織運営
学級を基盤とした組織的な運営
共通実践のための情報共有徹底
- (3) 危機管理
現実的な防災教育・交通安全
- (4) 生徒指導
生徒による自治的な生活づくり
保護者との連携
- (5) 特別支援教育
全生徒への個別対応
- (6) 研修
新学習指導要領に向けた学習による経営方針理解
- (7) CS（小中一貫教育）
小学校教員との連携強化
- (8) 働き方創造
意図的・計画的な業務遂行
私生活の充実
- (9) 学力向上
家庭学習の向上～1日の学習サイクルの確立
学びのデザイン力育成
- (10) 新しい運動の捉え
すべての生徒が**動き続け、発散する**運動機会の設定

5. 令和8年度の重点

- 学級（学年）経営の充実
 - ・担任業務の分業化～チーム担任制の**充実**
- 家庭学習の改革
 - ・一日の学習サイクルの中の「家庭学習」を**次の授業につなげる**具体的方策の確立
- 地域連携
 - ・保護者からの**信頼獲得**

6. 具体的な共通実践

1. すべての活動において、目的と目標を明示し、意図を理解・納得させる（**目的の明確化**）
2. 生徒が考える時間の確保（**待つ教育**）
3. 生徒の**心への配慮**

7. 評価活動

- 年間評価計画を確立する。少人数学校のため、数値結果だけではなく、**反省記述を重視する**。各種評価アンケートは生徒・保護者・教職員**すべて記名式**とする。
- 学校評価アンケート
 - 授業評価アンケート
 - 部活動評価アンケート
 - 各種教育活動後アンケート
 - 経営方針に関する評価アンケート